

6月議会・一般質問で「高齢者向け住宅の確保」 「マンション防災力強化」「障がい者福祉」等を質す



◆「高齢者向け住宅の確保について

平成 24 年 3 月に実施した人口推計によると、本市の高齢化率は一貫して上昇。平成 37 年には、4 人に 1 人は高齢者となります。特に、単身・夫婦のみの高齢世帯も増加しています。

高齢者が安心して老後を暮していくためには、地域のニーズに適合した施設整備を行うべきであり、必要な対策を実行するべきとの観点から、サービス付き高齢者向け住宅の誘導策、高齢者向け住宅の情報を一元化すること、在宅で介護・医療サービス体制を構築するための事業者への支援策、日常生活支援の体制について訴えました。

◆「障がい者移動支援事業について

現在、障がい者・児の移動支援事業については、福祉タクシー利用料金の助成と自動車燃料費の助成制度の 2 つがある。自動車燃料費助成は、支給対象者が①自ら運転の重度心身障害者、②18 歳未満の重度心身障害児の同居の保護者となっています。利用者の方からは、福祉タクシー券は使い勝手が悪い。との声が多く寄せられている。

そこで、この移動支援事業を一元化して、利用者が使いやすいように改善することを訴えました。

◆「マンションの防災力強化について

本市のマンション化率は、2 割近くとなっており、マンションの防災力強化は重要な課題である。そこで、マンションを地域の防災拠点として位置づけ災害協定を結ぶこと、災害対策のために積極的な支援策を行うこと、耐震化や防災対策の普及啓発のため管理組合を対象としたセミナーを実施すること、防災ガイドブックの発行、（仮称）マンション防災力認定制度を導入するべきであることを質しました。

皆様の声を市政に届けて参ります！！



2012年6月定例会が、6/6～6/29までの24日間の会期で開かれました。

本定例会では、議長・副議長の互選をはじめ、常任委員会・特別委員会のメンバー構成が一部変更となりました。私は、本定例会より、これまでの市民生活委員会、地下鉄号線延伸事業化特別委員会に加え、予算委員会の委員となりました。今後も、皆様の声を市政にしっかりとお届けして参ります。

公式ウェブサイト：<http://yoshida-iwatsuki.jp/>

空き家等の適正管理に関する条例が制定されます！

近年、所有者の高齢化や遠隔地の居住、経済的事情などの理由による空き家が増え、老朽化による倒壊や害虫の発生、ごみの不法投棄、不法侵入による犯罪の誘発、火災の恐れ、景観上の問題など、地域の生活環境に大きなマイナス影響を与えるばかりでなく、近隣住民の不安を抱かせている現状となっており、「空き家」は大きな社会問題となっております。

本条例では、市はこうした危険な状態にあると認められた空き家の所有者に対し、調査・指導・勧告・命令などを行い、命令に従わない場合には、住所・氏名などを公表することを明記しています。また、警察署長に必要な措置を講ずるよう要請することができる。と定めています。

条例の制定により、行政としての対応根拠が明確となり自発的な解決が促されることや、管理不全状態にならないよう抑止効果も見込めることから、「空き家」問題の解決に期待したい。

地下鉄 7 号線延伸事業、岩槻区のまちづくり

地下鉄 7 号線延伸に向けた市民活動に応え、早期に実現が図れるよう、浦和美園、岩槻駅周辺のまちづくりを、スピード感を持って推進することや、既設線の利用促進を図っていくことが重要。既成の枠にとらわれず、報告書で示された方策の具体的な検討を進めてほしいとの考えから 2 点質しました。

質問

需要確保策として、企業・教育機関の誘致を具体的に進めるべき。

答弁

企業・教育機関の誘致に継続的に取り組んでいく。また、医療関係の企業への意向調査を行っていく。

質問

沿線開発を含め、営業主体に東京メトロが参画できるよう、働きかけを行うべき。

答弁

現時点では株式売却・完全民営化等の方針のため参画は困難。事業認可面でも課題が多いと認識している。

岩槻駅周辺は、歴史・文化資源が集積しており、まちづくりの取り組みの方向性は、観光機能の強化が重点となっている。

質問

駅周辺には、観光案内板の設置、旧区役所を活用した来訪者用の暫定的な駐車場確保など、すぐに出来ることは実行するべき。

答弁

観光案内板は、今後検討を加え実施して参ります。駐車場の活用は、岩槻区役所で検討していきます。

首都高速新都心線の東北道への接続は、昨年 6 月、埼玉県より、核都市広域幹線道路の一部として早期整備及び必要な財源を確保することを、国に対して、提案・要望されている。

質問

首都高速新都心線の東北道接続急に整備に向けて取り組むべき。

答弁

現状、地域高規格道路の候補路線となっている。今後整備を推進する為には、ルート選定・整備手法・都市計画決定など段階を踏んだ上で、事業化を進めることになる。

“よしだ”の一言

いよいよ暑い夏を迎える季節となりました。昨年に続き、節電も叫ばれておりますが、皆様、お身体をご自愛いただき、特に熱中症にご注意ください。

ご意見・ご要望などお気軽にお声かけくださいませ。(TEL・FAX048-749-4328)